

平成28年2月25日
資金管理センター

リサイクル料金等収受に係る委託手数料の見直し(案)

1. 第64回資金管理業務諮問委員会(平成27年12月7日開催)における指摘事項

1台当たりの作業時間のうち、引取時預託の算出値を新車購入時預託と同じ90秒としたことについて、「示された作業時間の秒数やグラフだけでは、具体的な業務のイメージが掴み難い。新車販売時預託と引取時預託の委託実務の手間の違いや、取扱い車両によりリサイクル料金の確認等に手間がかかる事例を示すこと」とのご指摘を受けた。

2. 指摘事項に対する確認結果

上記1の指摘事項を踏まえ、計測を依頼した事業者に対し訪問及び架電にて追加確認を実施した。確認結果は下表1のとおり。

表1「委託実務の確認結果まとめ」

確認事項	新車購入時預託(自動車販売事業者)	引取時預託(引取業者)
委託実務の内訳	・リサイクル料金の確認 ・リサイクル券の発行	・実車装備確認* ・預託申請 ・預託* ※委託実務の対象外
手間の違い	・販売システムに組み込まれており、販売業務に合わせて行われる ・自動車リサイクル固有の入力が不要	・マニフェスト誤発行防止のため、より慎重に確認しながら手入力 ・輸入車の場合は、国産車と比較して実車装備確認に時間を要する
取扱い車両	メーカー取扱い車種	・国産 ・輸入車 ・事故車 ・構内車

3. 新手数料額案について

確認結果を踏まえて、引取時預託の1台当たりの作業時間については、150秒(実測平均値から約50%減)とする。新手数料額案は下表2のとおり。

表2「新手数料額案」

預託実務 (作業時間・手数料額)		適用期間		現行の想定値①	激変緩和期間中 (H.29~H.33年度)	激変緩和期間以降② (H.34年度~)	増減②-①
		新車購入時預託	引取時預託				
新車購入時預託	預託申請/ リサイクル券 発行実務	1台当たりの 作業時間 (手数料額*)		120秒 (146円)	← (80円)	90秒 (61円)	-30秒 -85円
	預託証明	1台当たりの 作業時間 (手数料額*)		20秒 (48円)	← (13円)	10秒 (6円)	-10秒 -42円
引取時預託	預託申請	1台当たりの 作業時間		175秒	←	150秒	-25秒
		(手数料額*)		(203円)	(113円)	(97円)	-106円

※税抜き価格

4. 新手数料への改定時期について

委託手数料が資金管理料金のコストの一部(約半分)であることから、資金管理料金改定の予定日である 平成 29 年 4 月 1 日に合わせて実施する。

5. 今後の委託手数料の見直しについて

(1) 急激な値下げによる影響を回避するための 激変緩和期間(5 年間)を、自動車販売事業者及び引取業者に対する委託業務の効率化支援を実施する。

効率化支援の具体策は以下の 3 点を中心に検討・実施予定。

委託業務の切り分け	効率化支援の具体策(案)	担当	実施時期(案)
各拠点・事業所の努力による効率化が可能なもの	・業務手順の見直し ・事業者向けマニュアルの改訂 (ベストプラクティスの紹介)	資金管理センター	平成 28 年度中
各拠点・事業所の努力による効率化が困難なもの	・自動車リサイクルシステムの見直し※	資金管理センター	平成 29・30 年度中

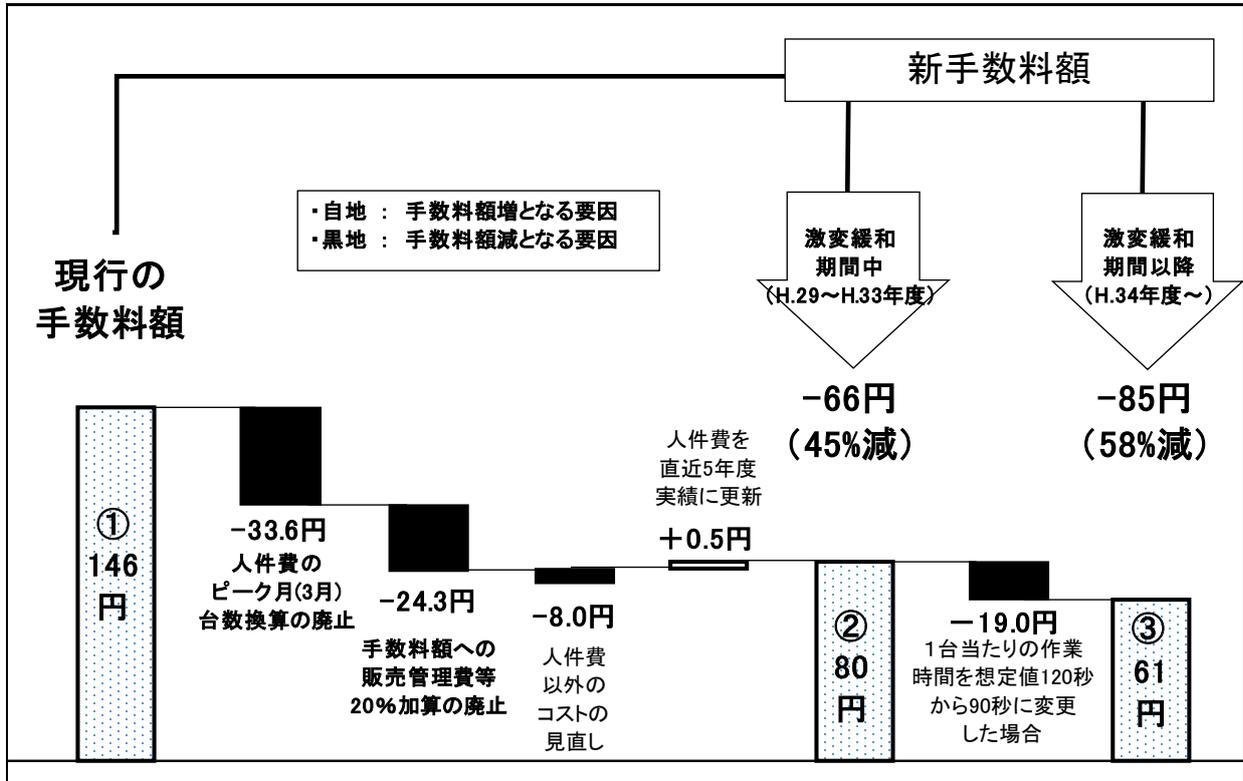
※大規模な改修が必要なものは、平成 35 年度に実施予定のシステム刷新に盛り込む予定。

(2) 激変緩和期間の 5 年目にもう一度状況を確認し、現時点での目標値となる激変緩和期間以降の作業時間に、効率化支援の効果を反映した手数料額とする。

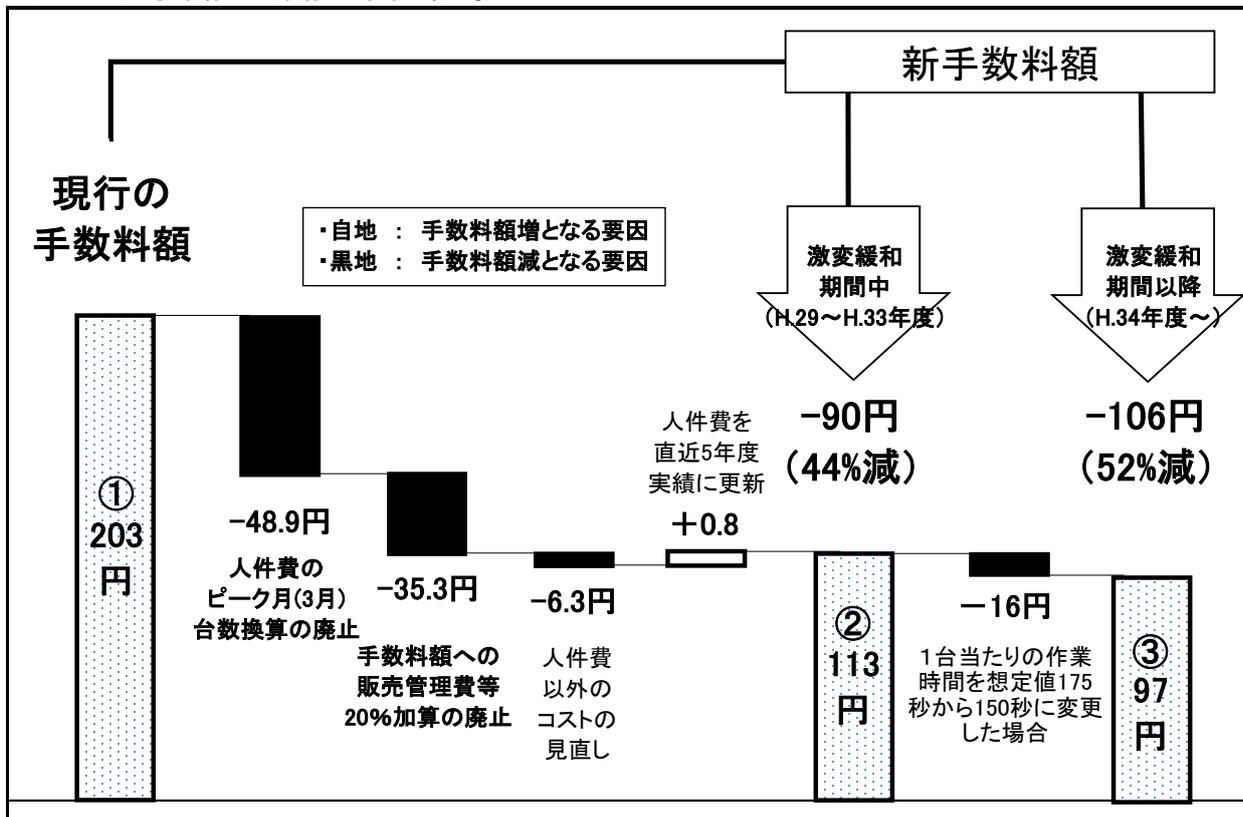
今後は、定期的(5 年を目処)に委託手数料の見直しを実施する。

図2「新手数料額の試算結果 要因別増減表」

○新車購入時預託(預託申請/リサイクル券発行実務)



○引取時預託(預託申請実務)



以上